新潟県立植物園 2024年4月・5月
温室みどころマップ

温室の中では外よりも一足早い植物たちの様子を先取りできます。

カボチャのような可愛い果実
①タチバナアデク
【フトモモ科】
学名：*Eugenia uniflora*

南米原産で、長い花柄の先に白い小さな香りのよい花を咲かせます。

その後、カボチャのような形の緑色の果実をつけ、徐々に赤く熟します。生で食べられるほかジュースやジャム、ゼリーなどに加工されます。主にブラジルで生産が盛んですが、果皮が薄く生のままでは長時間の輸送に向かないため、日本には輸入されていません。別名でピタンガ、スリナムチェリーとも呼ばれています。

赤くなった果実が２つ並ぶとまるでサクランボのようです。

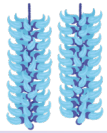
赤と黄色のカラフルな色と独特な花の形が個性的
②ツンベルギア・マイソレンシス
【キツネノマゴ科】
学名：*Thunbergia mysorensis*

インド南部原産のつる性多年草です。赤い苞をもち、黄色い花冠の裂片が反り返り、人が口を開けたような花を咲かせます。
和名ではインド南西部の都市マイソールにちなみ、「マイソル矢筈蔓（やはずかずら）」で、英名は花の色から「カレーバイン」と呼ばれています。
(vine：つる)

見逃すとまた１年後にしか出会えない
③ヒスイカズラ【マメ科】
学名：*Strongylodon macrobotrys*

フィリピン原産のつる植物です。名前の通りヒスイ色の美しい花を咲かせます。

現地では、夜に蜜を吸いに来るオオコウモリの後頭部に花粉を付けるため、花弁の一部がてこのように動き、雄しべが飛び出して受粉する仕組みを持っています。
絶滅危惧種に指定されている貴重な植物です。
神秘的な花色のため、開花をめがけ来館されるヒスイカズラファンの方もいらっしゃるほど魅力的な花です。



第１室
（熱帯植物ドーム）
花が咲いています
実がついています

観賞温室ではなく別の建物です

花と緑の情報センターで３日間限定開催
「春の大つばき展」
４月５日㊎～４月７日㊐
主催：新潟県花つばき協会

第２室
植物の魅力を紹介する企画展示を開催。
大人気の水中庭園では多様な水草を展示。

園地のシャクナゲ園も併せてお楽しみください。（見頃：４月下旬～５月中旬）

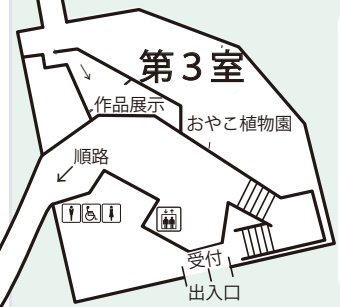
「シャクナゲ・ツツジ展」
３月27日㊌～５月12日㊐

当園は1,000種類を超す、世界屈指のシャクナゲ・ツツジコレクションを保有しています。このコレクションには、園地のシャクナゲ園に植栽された樹高3m超、樹齢50年以上のシャクナゲの古木や、歴史的に貴重なツツジ園芸品種、市場ではやあまり見ることのない希少な品種などがあります。今回の展示では、野生種、園芸品種合わせて100種類に迫るシャクナゲやツツジを紹介します。

「アイヌ文化と植物展 ～植物とともに生きていく～（仮称）」
５月15日㊌～７月７日㊐

自然と共に、自然の一部として生きていくために様々な知恵を用いていたアイヌ。その文化の中で植物はどのように用いられていたのかを紹介する展示です。

第３室
『作品展示』では植物に関連した活動を行っている団体や個人の作品を展示。
体験教室や「おやこ植物園」はこちらの温室です。



おやこ植物園
植物の観察、工作などをおやこで体験するエリアです。

対　　象：小学生以下のお子さまとその保護者の方
開館日時：温室開館日の10:00~15:00
体 験 料：体験内容により異なります。（別途入館料）

参加方法：
当日温室入館券売り場でお申し込みください。
※混雑時は入場制限する場合もございます。
※ご不明な点はお問い合わせください。

作品展示
「花・木の写真展」（写真の展示）
４月３日㊌～４月22日㊊ 新津「写友会」写真クラブ

「森のアトリエ・押し花アート」（押し花絵画の作品）
４月24日㊌～５月12日㊐ おしばなの仲間達

「ボタニカルアート展」（植物の細密画）
５月15日㊌～６月３日㊊ 下越ボタニカルアートの会